

東広島市立向陽中学校 第 1 学年 外国語科	
単元名	自己紹介をしよう Lesson3 I Like Soccer
豊かな表現力	
<b>本単元で育成する資質・能力</b>	

- 1 実施日 平成 30 年 7 月 11 日 (水) 3 校時 10 : 35 ~ 11 : 25
- 2 学年・学級／場所 1 年 2 組 (男子 19 人, 女子 19 人 計 38 人) / 少人数教室 2
- 3 単元の目標
  - ・自分の好きなものや得意なことを伝えたり, 相手の好きなものや得意なことを聞きながら, やり取りを展開する質問をすることができる。  
(外国語表現の能力)
  - ・疑問文を用いて質問するなどして, 話し続けようとしている。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
  - ・一般動詞の否定文や疑問文を用いた文の構造を理解している。  
(言語や文化についての知識・理解)
- 4 本単元を指導するにあたって

(1) 単元観

本単元では, 健が好きなものについてプレゼンテーションを行い, その後, 久美とポールが一つの話題について質疑応答している場面が設定されている。また, 健とエマが, 持ち物の話題からどんな食べ物が好きかという話題へ展開するやり取りを行う場面もある。言語材料としては, 一般動詞の肯定文や否定文, 疑問文とその応答を扱う。さらに, 疑問詞 **what** で始まる疑問文を扱っており, 一つの話題について, 相手の意向などをたずねながら, 会話をつなげることができる。

ここでは, 「話すこと [やり取り]」の イ「日常的な話題について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて伝えたり, 相手からの質問に答えたりすること」ができる力の育成を目指す。友達や新しい ALT とやり取りをする中で共通の話題を見出しながら, お互いのことを伝え合う場面を設定する。その場面では, 自分が相手に自分の興味や関心があることを伝え, 相手にも質問しながら, お互いの共通する話題を見出すことで, 会話を続けることができることに適した単元である。本校の CAN-DO リスト学習到達目標「話すこと [やり取り]」では「自分の身の回りのことについて, 基本的な表現を用いて質問したり答えたりして, 先生や友達と会話をするすることができる」としている。したがって, 本単元では二人が共通する話題を基に, 関連する質問をするなどして会話を続けようとする力を養う。

(2) 生徒観

本学年の生徒たちは, 元気に挨拶をしたり英語の歌を歌ったり, 音読練習なども意欲的に行うことができる。本学級の生徒達もクラス全体で声を出す場面では, 活発に英語を言うことができる。また, ペアやグループでの活動も協力してすることができる。以下の表は, 6 月後半に実施した英語学習に関する意識調査による肯定的評価の割合を示したものである。

1	英語の勉強は好きです。	75.0%
2	英語の授業はよく分かります。	80.6%
3	英語の授業で学んだことを, ふだんの生活で使ったり, 学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。	69.4%
4	英語の授業では, 分からない単語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は辞書を使って調べています。	72.2%
5	英語の授業では相手から質問や依頼を聞くと, 相手が何を求めているのかを	91.7%

	注意して聞き、それにこたえるようにしています。	
6	英語の授業では自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	77.8%
7	外国の人と積極的にコミュニケーションをとりたいです。	69.4%
8	英語で友達とやり取りすることは楽しいです。	73.0%

以上の結果より、「授業がよく分かる」と答えた生徒は約 80%、「英語の勉強が好き」と答えた生徒は 75%にとどまった。

また、「英語の授業で学んだことがどんな場面で使えるのか考えています」「外国の人と積極的にコミュニケーションをとりたい」と答えた生徒はともに 69.4%と低い。さらに、「自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています」と答えた生徒も 80%を下回っている。

なお、「英語で友達とやり取りすることは楽しい」と答えた生徒は、73%であった。理由として、「今まで話をしない人とも話ができて、今まで知らなかった友達のことが分かる。」「友達と話をすると明るい気分になれるから。」「新しく習ったことを使うとだんだん会話が続くようになってくるから。」などがあった。一方、「何を話してよいか分からない。」と回答した生徒もあり、英語でやり取りをする際の課題が明らかになった。

### (3) 指導観

本単元では、二人が共通する話題を基に、相手により詳しい情報を求めて質問し会話を続けることができる力の育成を目指す。単元のまとめとして、パフォーマンステストの実施を予定している。具体的には、生徒がメモなどを用いて、自分が興味や関心があることを相手に伝え、そのことに関して相手に質問することで、相手との共通の話題が見出され会話を続けることができる力を養いたい。そのために、以下のように指導をしていく。

- ・単元の最初に、単元末で実際にALTと共通する話題を基に会話をする場面があることを知らせ、生徒の学習意欲を高める。
- ・ALTとの実際の会話の場面に向けて、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう、学習の流れを黒板に掲示する。
- ・毎時間の帯活動で、1分間のやり取りを行い、会話に有効な表現について繰り返し練習させる。
- ・教科書本文から、会話の円滑な流れをつかませる。
- ・自分の好きなこと、好きではないこと、相手に what 等の一般動詞の否定文や疑問文を用いて、互いに伝え合う場面を設定する。
- ・会話を続ける活動では、生徒に見本のパフォーマンスをさせることにより、全体で、会話を継続させるために何が有効であったか気付かせる。

CAN-DO リストの学習到達目標 話すこと [やり取り]

卒業時	簡単な英語を用いて、自分の考えや気持ちを生き生きと伝えあうことができる。
本校の各学年学習到達目標	
3 学年	与えられたテーマについて、様々な既習の英語を用いて、事実や根拠を示しながら自分の考えや気持ちを伝えることができる。
2 学年	日常生活の身近なことについて、簡単な英語を用いて、事実を示しながら自分の考えや気持ちを伝えることができる。
1 学年	自分の身の回りのことについて、基本的な表現を用いて質問したり答えたりして、先生や友達と会話することができる。

## 5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関 心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
・質問するなどして、話 し続けようとしている。	・自分の好きなものや得 意なことを伝えたり、相 手の好きなものや得意 なことを聞きながら、や り取りを展開する質問 をすることができる。	/	・一般動詞の否定文や疑 問文を用いた文の構造 を理解している。

## 6 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場 面・状況	8月から来られる新しいALTと早く仲良くなるために、自分の好きなことや得意なことを相手に伝えたり、相手の質問に答えたりしながら、やり取りを展開する質問をすることができる。
目指す発話例	<p>S: Excuse me. Can I talk to you now? T: Sure. S: My name is _____. My birthday is _____. I'm from _____(elementary school). I like ice cream and potatoes. I don't like wasabi. I play the recorder, but I don't play the violin. I like animals. I have a dog. It's very cute. I'm in the tennis club. I'm good at table tennis. T: Do you like sports?. S: Yes, I do. It's interesting. What sport do you like? T: I like volleyball. S: Oh, I see. T: Do you play volleyball too? S: No, I don't. T: Oh, really?</p>

## 7 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

### 関連する言語材料

We Can 1, 2	We Can 1, 2 → 中学校	中学校
Unit 2 Do you like soccer? Yes, I do. / No, I don't. I don't like soccer.	質問する。 応答する。 → 応答+新たな情報を加える。	Unit3 Do you play the guitar? No. I don't play the guitar. <u>I sing.</u>
Unit2 What color do you like? I like red.	会話に代名詞が加わる。	Unit3 What food do you like? I like dashimaki. I sometimes cook <u>it</u> for my family.

8 指導と評価の計画

次	ねらい・学習活動	単元の 評価規準	評価方法と単元を貫く課題 (PT) に向けたステップ PT=パフォーマンステスト
1	<p><b>課題設定</b></p> <p>新しいALTの先生と話がしてみたい。ALTの先生に自分のことを知ってもらいたい。どのようにしたらALTの先生と、楽しく会話が続けられるのだろうか。</p> <p>●<u>会話を続けるにあたって、本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなことや得意なことなどを伝えるために必要な技能を考える。</li> <li>本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。</li> </ul>		<p>パフォーマンステストについて知らせる (内容と評価)</p>
2	<p><b>情報の収集</b></p> <p>●<u>一般動詞の肯定文を用いた文の構造を理解し、自分の好きなことを伝える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文を通して、一般動詞の肯定文の使い方を理解する。</li> <li>教科書本文から、自分の好きなものや大切なものを紹介するときに使われる表現を探す。</li> </ul> <p>A: I like soccer. How about you? B: Me too. I like baseball too. A: Oh, I see.</p>	エ	<p>教科書の内容からPTに使える表現を見つけて確認をする</p>
3	<p>●<u>一般動詞の否定文や疑問文を用いた文の構造を理解する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文を読んで、一般動詞の否定文や疑問文の文構造、その応答の仕方について理解する。</li> </ul> <p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: Yes, I do. Do you like baseball? A: No, I don't. I don't like baseball. B: Oh, I see.</p>	エ	<p>めあての確認の際、PTとの関連を意識させる</p>
4	<p>●<u>一般動詞の疑問文を用いて、友達と質疑応答ができるようにする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>質問し合うときに、その応答に対して自分の好きなことや好きではないことなどの新たな情報を付け加えることで、会話の広がりや、話題の膨らませ方に気付き、会話を続けようとしている。</li> </ul> <p>A: I like soccer. Do you like soccer? B: Yes, I do. Do you like baseball? A: No, I don't. I don't like baseball. I'm not good at baseball. B: Oh, I see.</p>	ア	<p>活動観察</p> <p>PTに向けて、疑問文やその応答の表現について、帯活動などで繰り返し練習する</p>

自分の好きなものや得意なことを伝えたり、相手の好きなものや得意なことを聞きながら、やり取りを展開する質問をすることができる。

5	<p>●<u>疑問詞を使った文の対話文を読んで、話題の膨らませ方を理解する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・What do you ~? What ( sport ) do you like?の文構造を理解する。</li> <li>・教科書本文を通して、疑問詞の使い方や答え方を理解する。</li> <li>・疑問詞を用いた文を使って、お互いにインタビューをして話題を膨らませる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. What sport do you like?        B: I like baseball.        A: Really? I don't like baseball.        B: Oh I see.</p> </div>	エ	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>疑問詞を用いて、相手にその場で質問したり、答えたりする</p> </div>
6	<p>●<u>お互いに尋ねたり、相手の質問に答えたりすることができる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことについて相手に質問し、その答えに相づちを打ったり、さらに質疑応答をして対話を続ける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. Do you like soccer?        B: No, I don't.        A: Oh, I see. What sport do you like?        B: I like baseball.        A: Me too.</p> </div>	ア	<p>活動観察</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ペアでの会話を通し、表現を広げる</p> </div>
7	<p>●<u>自分の誕生日や特技、好きなものや苦手なものなど、自分らしさが伝わる自己紹介を準備する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表メモ（自己紹介ポスター）の作成。</li> <li>・どのような順番で伝えたらよいか考える。</li> <li>・相手のことを知るために、どのような質問をすればよいか考える。</li> </ul>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>PTに向け、自己紹介を聞いてどのような質問ができるか再確認する</p> </div>
8 本時	<p>●<u>二人が共通する話題を基に、相手により詳しい情報を求めて質問し会話を続けることができる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を基に、自分の特技や好きなもの・苦手なものなどを紹介する。</li> <li>・絵を基に、相手は興味や関心があるか質問する。</li> <li>・相手との共通する話題を見出すために、疑問文を有効に使う。</li> <li>・使った疑問文が、会話の継続に有効であることに気付く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A: I like soccer. It's interesting.        Do you like soccer?        B: No, I don't. It's not interesting.        A: What sport do you like?        B: I like volleyball. It's interesting.        A: Oh, I see.</p> </div>	イ	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ペアでの会話を通し、表現を広げたり、会話を続ける        PTに向けた再確認</p> </div>

整理・分析

実行

後日	<p>●パフォーマンステスト ・パフォーマンステストの実施</p> <p><b>振り返り</b></p> <p>パフォーマンステスト</p>	イ	<p>PT A L Tと話す実際の場面</p>
----	--	---	-----------------------------

9 本時の目標

自分の好きなものや得意なことを伝えたり，相手の好きなものや得意なことを聞きながら，やり取りを展開する質問をすることができる。

本時の指導計画（7時間目／全8時間）

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 [観点] (評価方法)
導入	<p>1 始めの挨拶 (day, date, weather, time) Warm-up ○song(Dancing Queen) ○Small Talk in pair</p>	<p>◇元気よくあいさつをして，英語の学習の雰囲気を作る。 ◆クラスみんなに尋ねる質問について英語での言い方を事前に確認しておく。 ◇Small Talk のやり方を確認してスタートする。</p>	
<p>課題 互いのことを知るために，会話を続けるにはどうしたらよいか。</p>			
	<p>2 既習事項の復習 ○質問や応答で使われる表現 ○ぺらぺら英語N o 3 ○質問練習</p> <p>3 本時のめあて確認</p>	<p>◇主語・動詞・助動詞 (do)・疑問詞などを色で区別して視覚的に分かりやすく表示する。 ◇質問とその答え方に慣れさせる。 ◇会話を展開する質問を言わせる。</p>	
<p>Today's Goal 自分の好きなことや得意なことを伝えて，相手に質問をしたりして，会話を続けることができる。</p>			
展開	<p>4 ペアでお互いに自己紹介，質問し合う。</p> <p>5 練習 教室内で相手を見付け，自己紹介後にお互いに質問し合う。</p>	<p>◇ポスターを見ながら，自己紹介させる。 ◇何度も口頭練習をして言い方に慣れさせる。 ◇時間を設定して，意欲的に取り組めるようにさせる。 ◆ペアで助け合うように指示をする。様子を見て発音や言い方など確認する。</p>	<p>相手の好きなことや得意なことを聞いて，会話を展開する質問をすることができる。 [外国語表現の能力] (行動観察)</p>

	6 モデル発表	◇活動中に全体に参考になるペアや個人を指名して、良いところを共有させる。	
まとめ	7 本時の振り返りとまとめ 本時の課題に対するまとめを発表する。	◇自己紹介や対話練習に関してうまくいったこと・うまくいかなかったことをクラス全体で共有させる。 ◇パフォーマンステストに向けて意欲をもたせる。	
<p>目指す生徒の発話例</p> <p>A: I like English. It's interesting. Do you like English?          B: No, I don't. It's not easy.          A: Really? <u>What subject do you like?</u>          B: I like PE. It's interesting.          A: I like it, too. I like sports. Do you like sports?</p> <p>まとめ</p> <p>各自が作成したポスターを見ながら、分かりやすく伝える。          相づちを打ちながら聞く。          相手の言ったことに関連する質問をする。別の話題について尋ねる。          相手のポスターを見ながら、質問内容を考える。</p>			
	8 終わりの挨拶	◇英語系の号令に合わせて元気よく挨拶をさせる。	

10 板書計画

<p>単元の目標</p> <p>Today's goal</p> <p>Sunny Wednesday, July tenth</p> <p>Today's summary</p>	<p>お互いに自己紹介し合って、質問したり答えたりすることができる</p> <p>自分の好きなことや得意なことを伝えて、相手に質問したり、答えたりすることができる。</p> <p>課題 互いのことを知るために、会話を続けるにはどうしたらよいか。</p>	<p>Are you a Carp fan? Yes, I am. No, I'm not.</p> <p>Do you like soccer? Yes, I do. No, I don't.</p> <p>What <u>food</u> do you like? I like okonomiyaki.</p>	<p>下線に入る物の例 subject sport anime...</p> <p style="writing-mode: vertical-rl;">単元の流れ</p>
<p>相手の話す内容に関連する質問をする。 ポスターを見ながら、質問内容を考える。 相手の話す内容に相づちを打つ。</p>			

1 1 パフォーマンステスト評価基準

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力
A	間違ふことを恐れず、習ったことを積極的に使ってやり取りを続けようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の質問に対して、新しい情報を加えて2文で答えることができる。</li> <li>○Yes/No で答える質問だけでなく、会話の流れの中で話題を変えたりすることができる。</li> </ul>
B	間違ふことを恐れず、ジェスチャーを交えるなどしてなんとかやり取りを続けようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の応答に反応することができる。</li> <li>○Yes/No で答える質問だけでなく、What で始まる質問をすることができる。</li> <li>○相手の応答に反応して、関連することを尋ねることができる。</li> </ul>
C	積極的にやり取りをしようとしていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○質問をすることができない。</li> <li>○相づちをうったり、相手に反応していない。</li> </ul>